

第23回定時株主総会

株式会社バイ・テクノロジー
2020年6月25日

第23回株主総会

【ご報告事項】

1. 第23期の事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第23期計算書類報告の件

【決議事項】

- 第1号議案 剰余金の処分の件
- 第2号議案 取締役5名選任の件
- 第3号議案 監査役2名選任の件
- 第4号議案 取締役に対する株式報酬等の額及び内容決定の件

事業報告

企業集団の現況について

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(1) 事業の経過および成果

当連結会計年度の事業環境（経済環境）

世界経済	中国内で始まった新型コロナウイルスの大流行が、欧米を中心に全世界へと広がり、過去に前例のない規模と速さで後退
米国	3月に国家非常事態が宣言され、外出規制等の感染対策が全米各地で実施される中、サービス業を中心に経済活動が停止し、個人消費および設備投資は大幅に落ち込み
中国	各地で厳格な感染防止対策がなされ経済活動が極度に縮小し、小売売上高や固定資産投資は急減。一方、徹底した感染対策により、感染者数はピーク時と比べ大幅に抑制されており、経済活動再開の兆しも確認
日本	感染者数急増に伴う外出自粛や、世界的な景気後退の懸念から個人消費および設備投資は低迷

(1) 事業の経過および成果

当連結会計年度の事業環境 (FPD関連)

<p>FPD</p>	<p>当社の主要顧客である中国大手FPDメーカーの多くが、厳しい感染対策の影響を受け、パネル製造を縮小すると同時に新工場および新規の生産ラインの立上げを延伸した一方で、一服していた設備投資に商談の動き</p>
-------------------	--

(1) 事業の経過および成果

設備投資額：3,830百万円

主な用途は機械装置

(ソフトウェアの購入による無形固定資産198百万円含む)



株式会社ブイ・イー・ティー（本社工場）

(2) 重要な事業再編等の状況

- ナノシステムソリューションズ社を2019年8月に100%子会社化
- 2019年4月1日を効力発生日として、V Technology Korea Co., Ltd.によるVN Systems Korea Co., Ltd.の吸収合併(存続会社:V Technology Korea Co., Ltd.)



株式会社ナノシステムソリューションズ（本社工場）

(3) 財産及び損益の状況の推移

① 企業集団の財産および損益の状況 (損益)

- 売上及び利益は、Q3まで概ね計画通り推移するも新型コロナ禍によりQ4案件の殆どの売上が占める中国分が翌期へ延伸し減収減益
- 受注は、大型FPD投資の一服、新製品/新事業立上げ、コロナ禍が重なり低迷も一部商談に動き

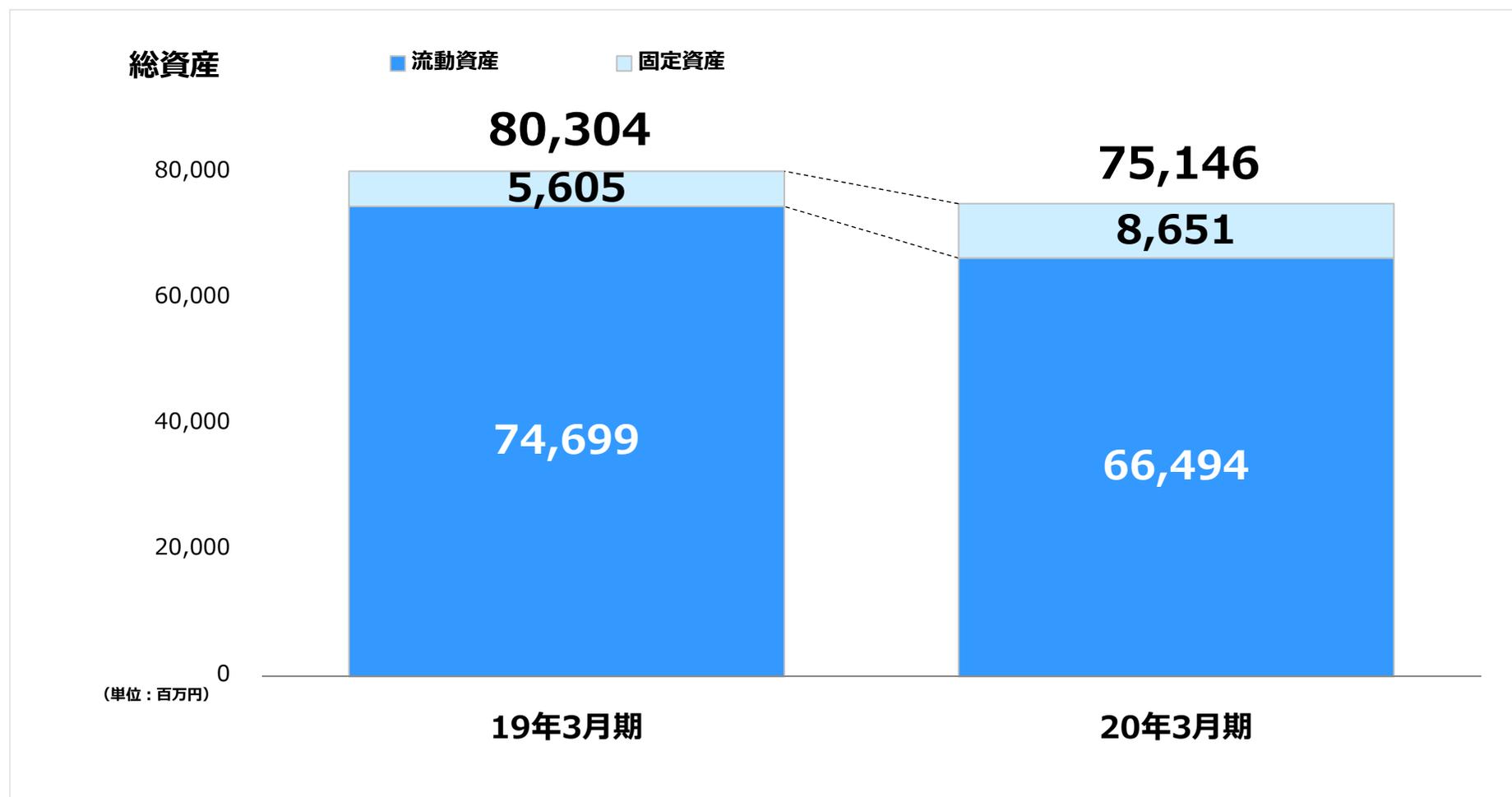
	19年3月期		20年3月期		増減率
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	
売上高	72,132	—	54,322	—	-24.7%
売上総利益	25,144	34.9%	15,122	27.8%	-39.9%
営業利益	16,628	23.1%	5,707	10.5%	-65.7%
経常利益	16,767	23.2%	6,209	11.4%	-63.0%
親会社株主に帰属 する当期四半期純利益	10,901	15.1%	3,277	6.0%	-69.9%
受注金額	47,430	—	22,532	—	-52.5%
受注残	90,935	—	59,145	—	-35.0%

(3) 財産及び損益の状況の推移

① 企業集団の財産および損益の状況 (総資産)

■ 総資産は前期比51億円減少し751億円

- 流動資産：「現金及び預金」等の減少により664億円(前期比82億円減)
- 固定資産：子会社での設備投資による「機械及び装置」等の増加により86億円(前期比30億円増)

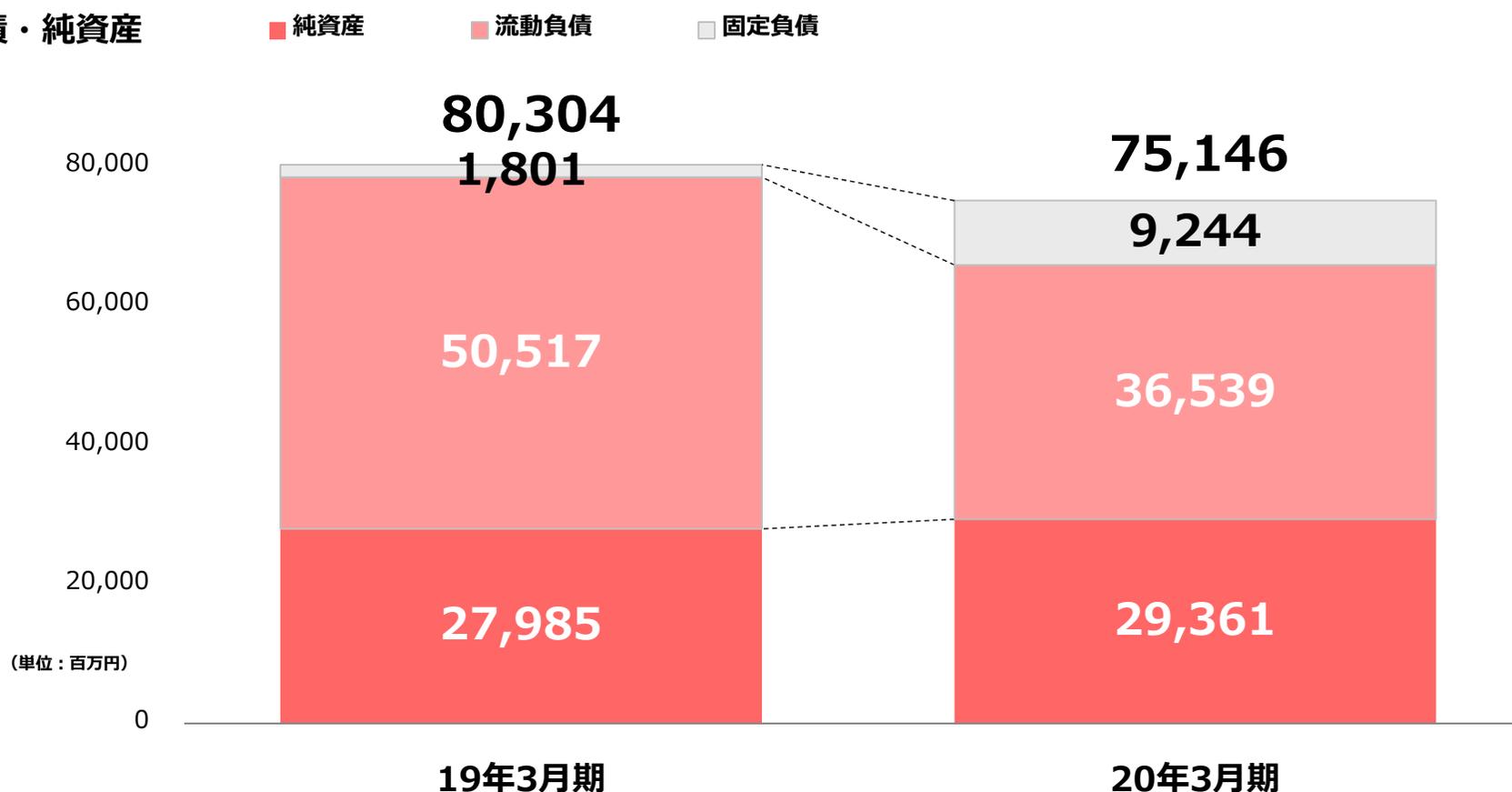


(3) 財産及び損益の状況の推移

① 企業集団の財産および損益の状況 (負債・純資産)

- 負債は前期比65億円減少し457億円
 - ・ 流動負債は「支払手形及び買掛金」及び「前受金」の減少等で366億円(前期比139億円減)
 - ・ 固定負債は短期借入の借換並びに設備投資に対する借入等により「長期借入金」が増加し92億円(前期比74億円増)
- 純資産は利益剰余金の増加等により293億円(前期比13億円増)

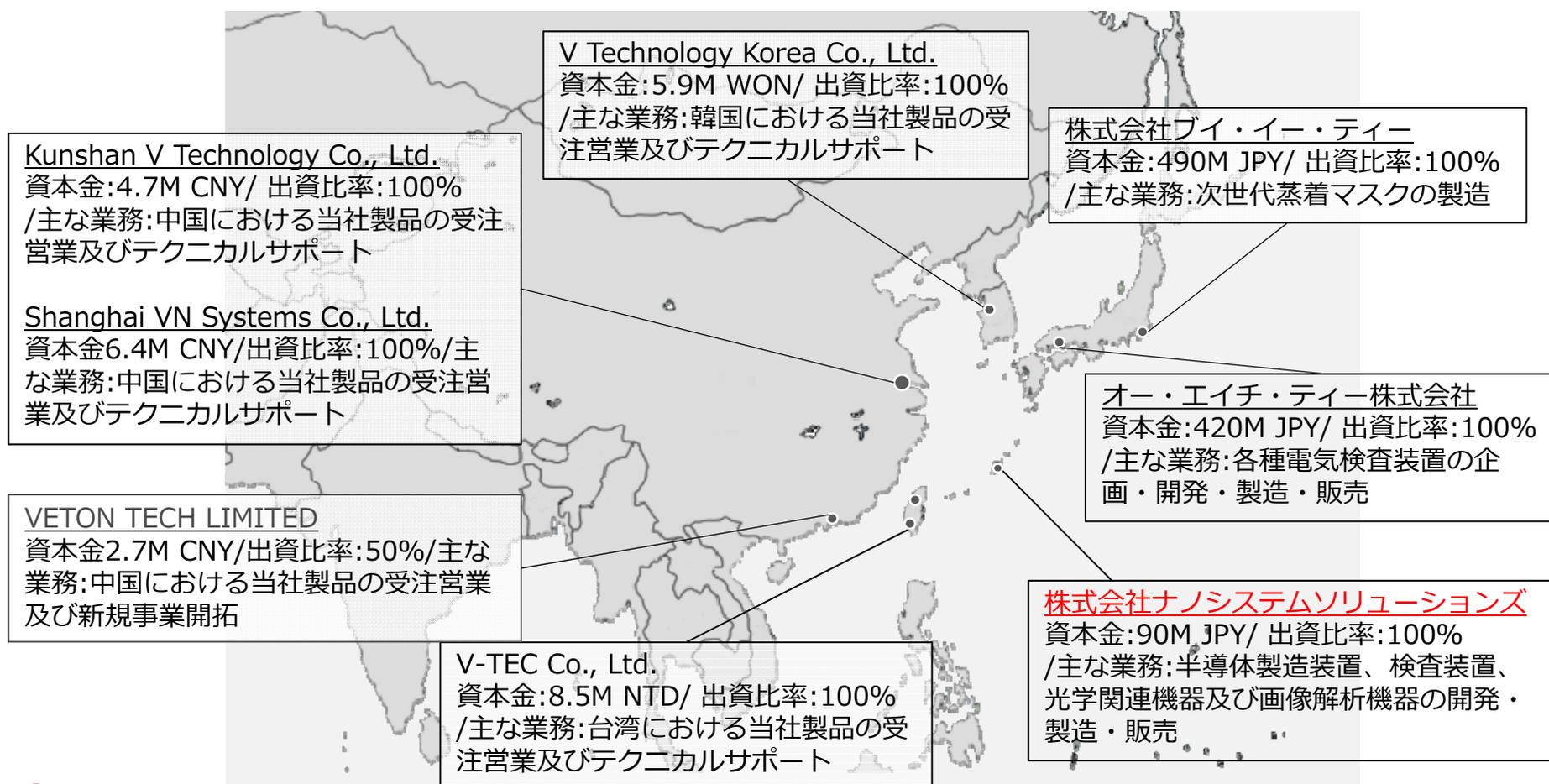
負債・純資産



(4) 親会社及び子会社の状況

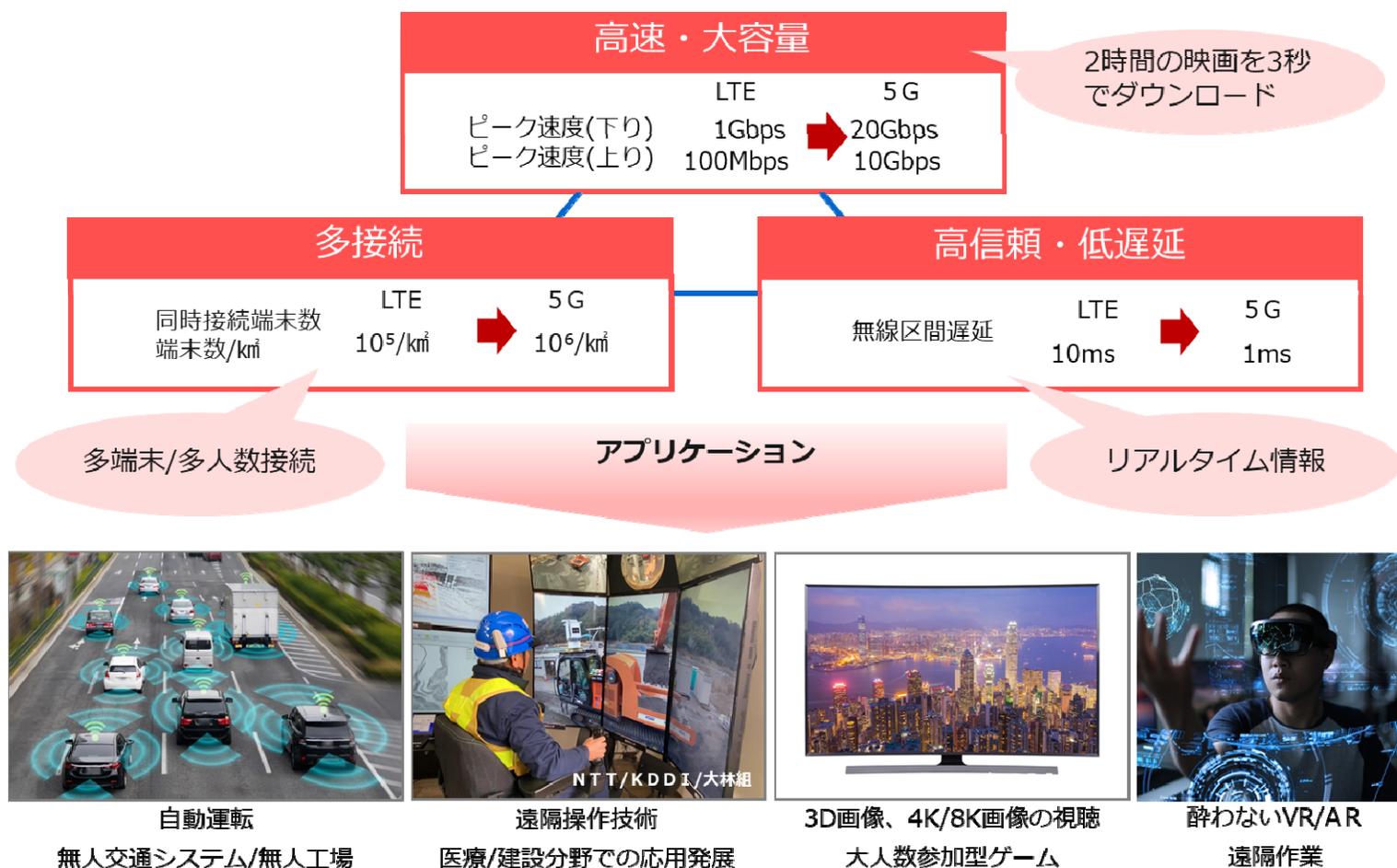
- ① 親会社の状況：該当なし
- ② 重要な子会社の状況：ナノシステムソリューションズ社の子会社化

重要子会社一覧



(5) 対処すべき課題

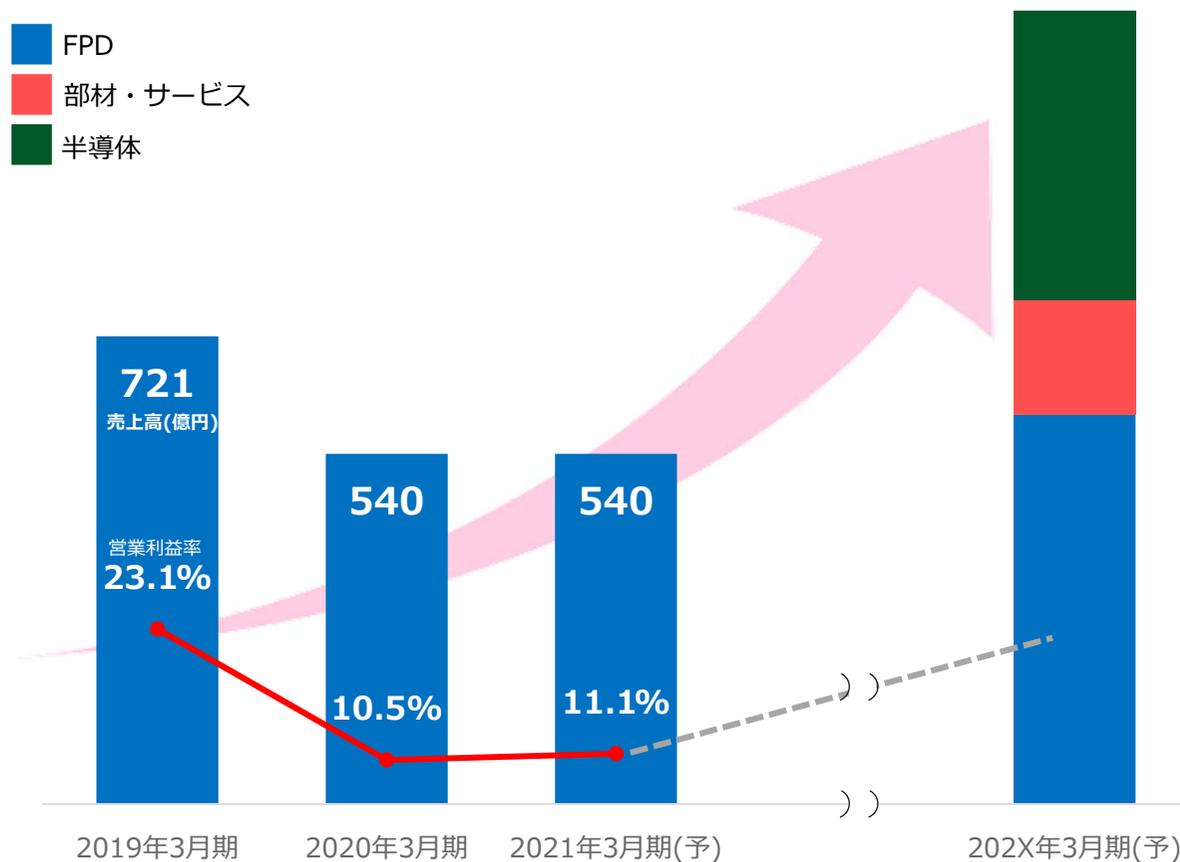
- 装置市場について、感染対策としてのリモートワークの急速な拡大がF P Dや半導体の新たな需要を創造
- A I、5 G通信、I o T技術の普及に不可欠なF P Dや半導体の更なる進化と市場は着実の成長



(5) 対処すべき課題

② 中長期的な成長に向けた取組み

- FPD分野における次世代装置の開発
- 安定的な需要が期待できる部材・サービス事業
- 半導体分野への進出（合併/業務提携/M&A）



成長を牽引する事業(製品)

半導体

- Z-CSET
- NSS
- アフターサービス等

部材・サービス

- 蒸着マスク(VET)
- サルベージサービス
- 有機EL照明
- 材料

FPD

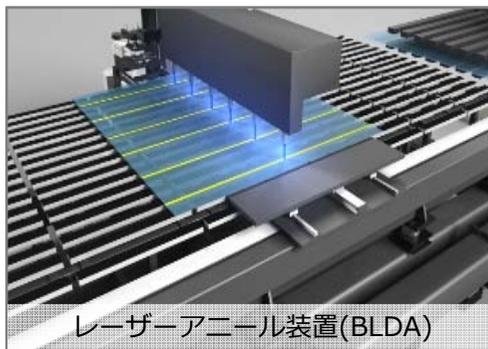
- 製造装置(露光装置等)
- 検査装置(測定装置等)
- 新製品
- アフターサービス等

(5) 対処すべき課題

③ 主な取り組み ～次世代装置の開発～

- 新製品によるOLED製造プロセスへの参入
 - WOLED製造技術に知見のある会社を子会社化(Lumiotec/FLASK)
 - 顧客とより密着したWOLED製造技術の開発を進める為CHOT社と合併会社CHVTを設立
 - 中小型OLED製造の鍵である蒸着マスク(Fine Hybrid Mask)と蒸着装置の同時開発(VT/VET)
 - μ LEDの基礎的な製造技術の確立を目指した顧客との共同研究

当社が開発を進めるOLED製造装置



レーザーアニール装置(BLDA)



WOLED用蒸着装置

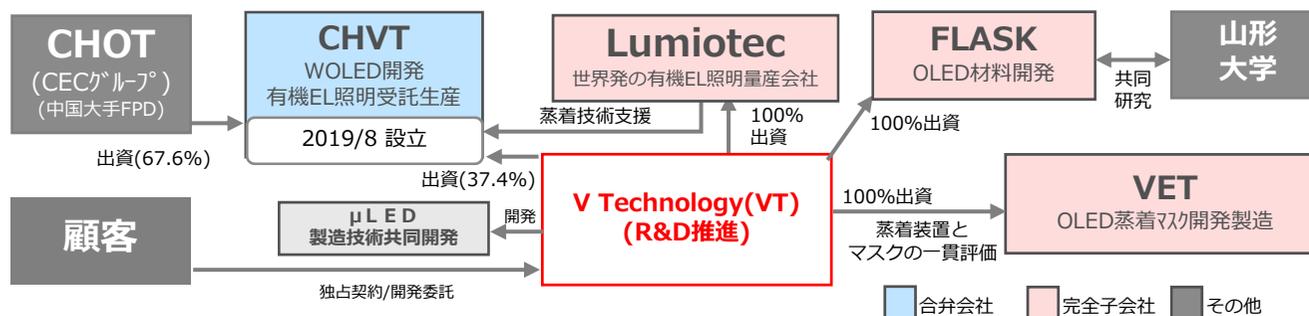


中小型OLED用縦型蒸着装置

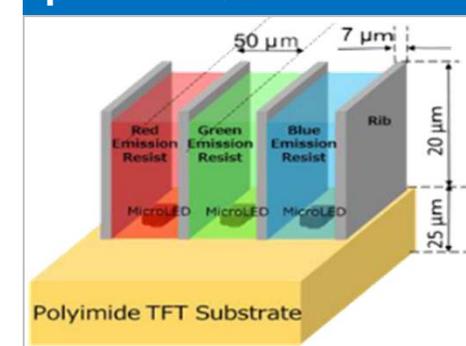
当社/CHVTを舞台に開発継続

蒸着マスクと装置を自社開発

実用化を加速するパートナーシップ



μ LEDの実用化



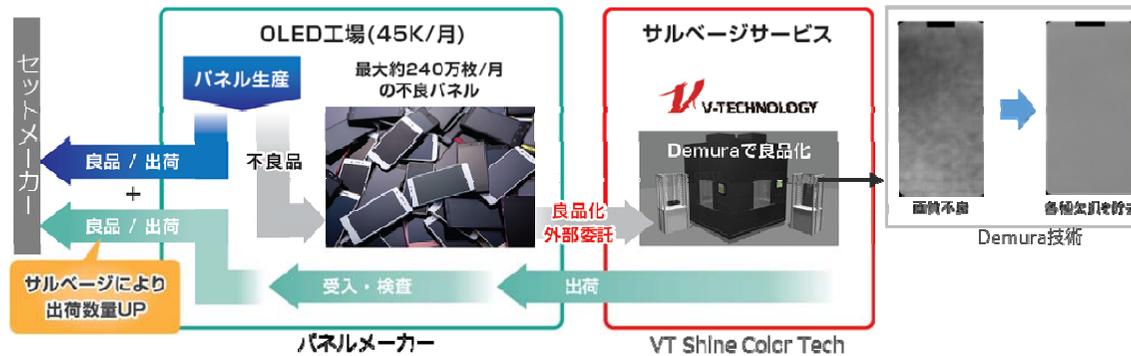
μ LED(UV光変換型)の構造

(5) 対処すべき課題

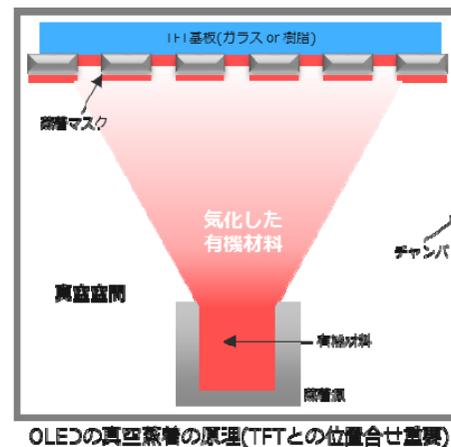
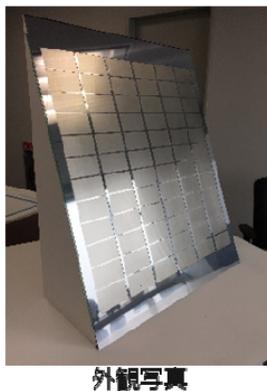
③主な取り組み ～部材・サービス事業の開発～

- サルベージサービス事業
 - 中国顧客をターゲットに4月設立、中小型OLEDの歩留り改善の切り札
- 蒸着マスク事業
 - 最軽量/高精細/高位置精度な上、顧客での面倒な組立作業が不要

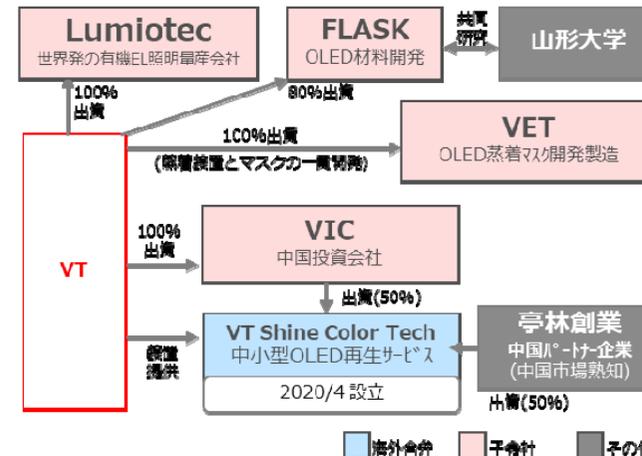
Demura技術でOLED需要に応える ～サルベージサービス事業(VT Shine Color Tech社)～



高画質OLEDの生産性UP ～蒸着マスク事業(VET社)～



VTのOLED技術とパートナーシップ

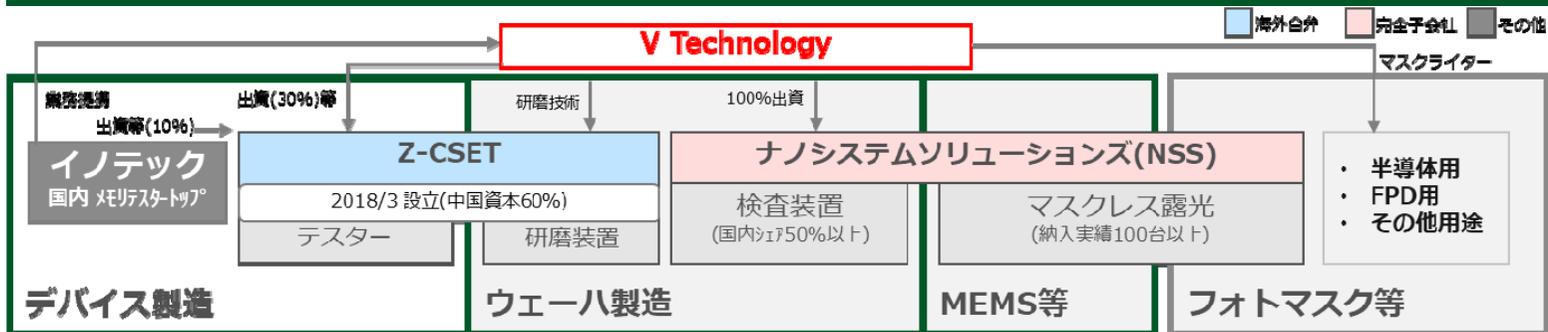


(5) 対処すべき課題

③主な取り組み ～半導体分野への参入～

- Z-CSET
 - ▶ ウェーハ研磨装置とテスター事業を推進、当社とイノテック社が技術支援
- ナノシステムソリューションズ (NSS)
 - ▶ 19年8月子会社化、ウェーハ検査で国内トップシェア、VTとのシナジーで事業拡大

半導体製造分野でのパートナーシップ ～核となる技術や商流を確保し着実に参入～



Z-CSET ～中国市場と地産地消政策に着目～



NSS ～ウェーハ検査でトップシェア、マスクレス露光に用途の広がり～



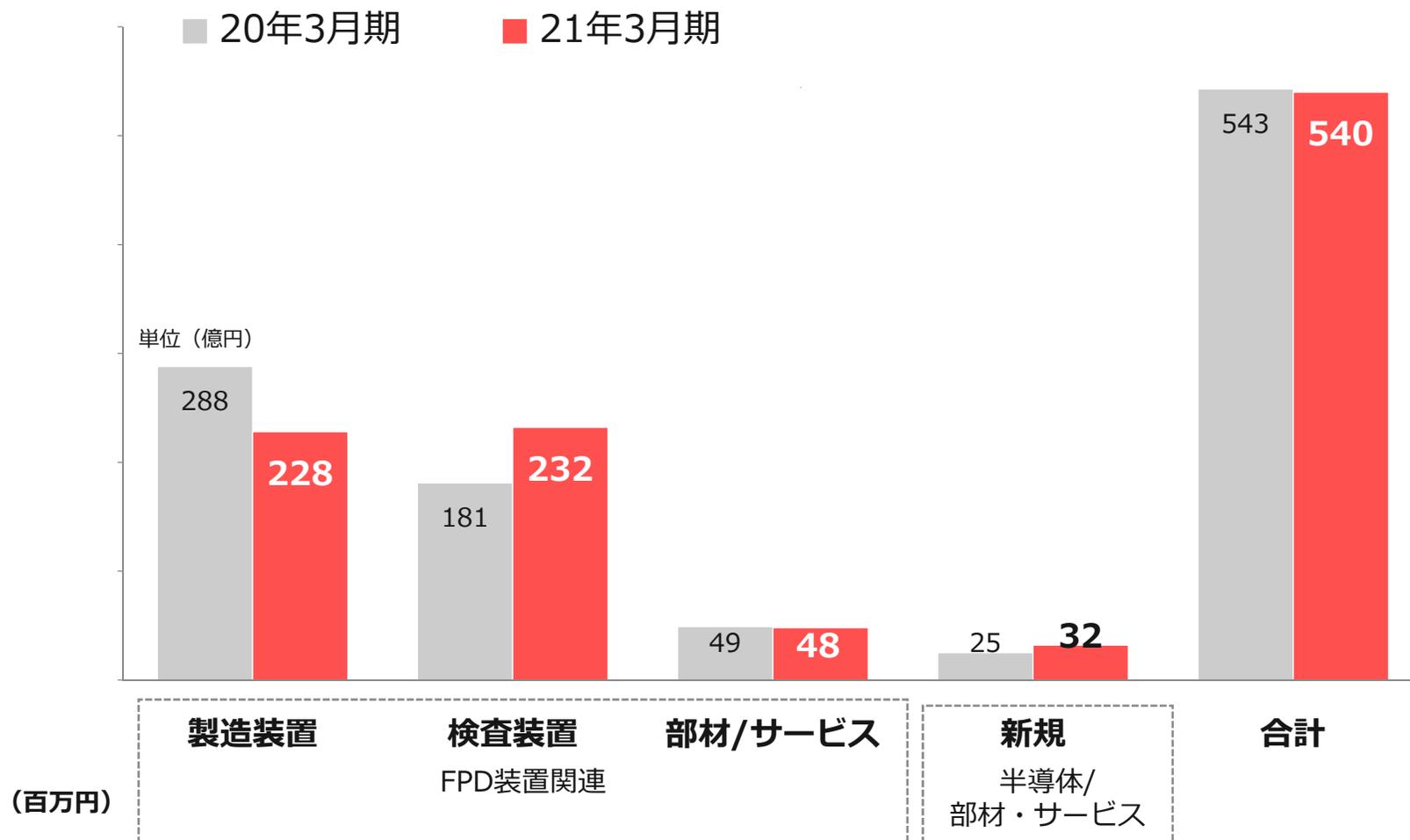
24期（2021年3月期）の連結業績および配当予想

- 昨年度の延伸分を今期計画に計上
- 新型コロナウイルスの影響による納期延伸の可能性を踏まえた予想

	20年3月期(実績)		21年3月期(予想)		対前期 増減率
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	54,322	—	54,000	—	-0.6%
営業利益	5,707	10.5%	6,000	11.1%	5.1%
経常利益	6,209	11.4%	5,800	10.7%	-6.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,277	6.0%	3,000	5.6%	-8.5%
EPS	338.99円		310.25円		—

配当について	20年3月期(実績)	21年3月期(予想)
中間	80円(実績)	60円
期末	40円(予定)	60円

(参考) 売上予想の装置別内訳



第1号議案 剰余金の処分の件

当社は、将来の事業の拡大や経営基盤強化の為に必要な内部留保の充実を図りつつ、配当の安定性・継続性を考慮の上、経営成績に応じた利益還元を行うことを基本方針としております。

上記基本方針および当期業績等を勘案し期末配当金を下記の通りとさせていただきますたく存じます。

第23期 期末配当金：1株につき金40円

効力が生じる日（支払日）：2020年6月26日（金）

第2号議案 取締役5名選任の件

取締役5名全員は本総会終結の時を以て任期満了となります。つきましては、取締役5名の選任をお願いいたします。

(候補者の詳細については、招集通知のP41~45をご参照ください)

候補者番号	氏名 (生年月日)
1	すぎもと しげと 杉本 重人 (1958年7月9日)
2 【社外】	きど じゅんじ 城戸 淳二 (1959年2月11日)
3	てんにち かずひと 天日 和仁 (1959年8月22日)
4	かんざわ ゆきひろ 神澤 幸宏 (1962年10月17日)
5 【社外】	にしむら ひでと 西村 豪人 (1953年7月14日)

第3号議案 監査役2名選任の件

監査役4名の内、住田勲勇、宇田賢一の両氏は本総会終結の時を以て任期満了となります。

つきましては、監査役2名の選任をお願いいたします。また、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

(候補者の詳細については、招集通知のP46-47をご参照ください)

候補者番号	氏名 (生年月日)
1	すみた いさお 住田 勲勇 (1943年8月21日)
2 【社外】	うだ けんいち 宇田 賢一 (1948年11月30日)

第4号議案 取締役に対する株式報酬等の額及び内容決定の件

本議案は、新たに株式報酬制度を導入することについてご承認をお願いするものです。

取締役の報酬と当社の株式価値との連動性をより明確にし、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的としております。

①	本制度の対象者	当社取締役（社外取締役を除く）
②	対象期間	2021年3月末日に終了する事業年度から2025年3月末日に終了する事業年度まで
③	②の対象期間において、①の対象者に交付するために必要な当社株式の取得資金として当社が拠出する金銭の上限	合計金300百万円
④	当社株式の取得方法	自己株式の処分による方法又は取引所市場（立会外取引を含む。）から取得する方法
⑤	①の対象者に付与されるポイント総数の上限	1事業年度あたり20,000ポイント
⑥	ポイント付与基準	役位等に応じたポイントを付与
⑦	①の対象者に対する当社株式の交付時期	原則として退任時

**株式会社バイ・テクノロジー
第23回定時株主総会にご出席頂き、
ありがとうございました。**